

まち協だより

平成 20年10月15日

No.2

発行 菩提寺まちづくり協議会 事務局 菩提寺公民館内 Tel:0748-74-3471
発行責任者 事務局長 栗津寛三

ペパークラフト

人づくり委員会

テレビや新聞をみますと、毎日のように子供にかかわる痛ましい事件が報道されています。

子供は社会の状態を映し出す鏡であると言われていました。これほどまでに痛ましい事件が続出しているのは、社会そのものが病んでいるからでしょう。

将来社会をささえてくれる子供達のために、学校を取り巻く地域がもっと学校とのかかわりを持ち、子供と同時に大人も成長しなければならないと思います。

今回学校の柔らかい雰囲気作りの手助けになればと思い、ペパークラフト展を開きました。

9月は菩提寺小学校に昆虫、菩提寺北小学校には恐竜を展示しました。10月は展示品を入れ替えます。11月は菩提寺小学校に世界遺産、菩提寺北小学校に折り紙を展示する予定です。

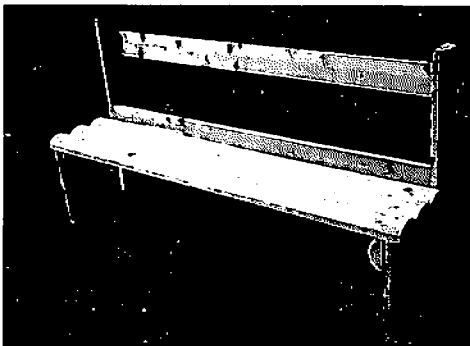
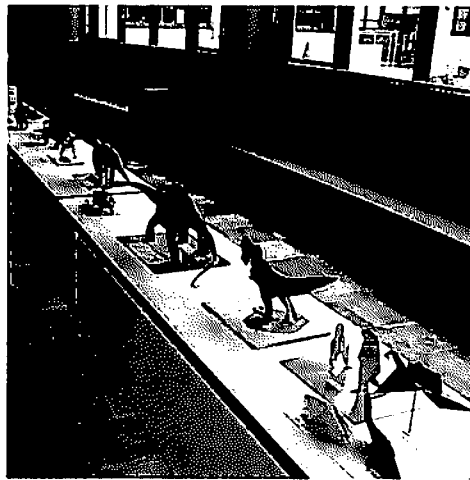
さらに菩提寺小学校の中庭にベンチ4脚作りました。

人づくり・総務広報委員会メンバーの汗の結晶作品。すでに

展示について

子供達が休み時間にベンチでくつろいでくれています。

(委員長 廣瀬)

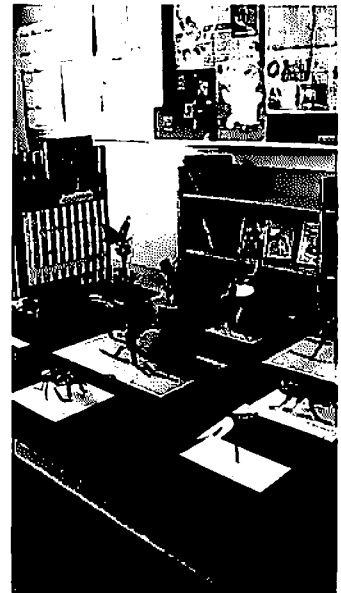


安全環境委員会

私たち安全環境委員会では、「安全で快適に暮らすまちづくり」をテーマに活動を行って

まち協 公民館まつり に参加

11月15日(土)、16日(日)



ます。

特に今年は「地震対策」をメインテーマに掲げています。

今日本列島は、関西神戸淡路大震災をはじめとして地震活動

期に入ったと言われています。そこで「いま地震が発生したら、あなたは何をするか、何をすべきか？」をサブテーマとして活動を開始しました。

具体的には、岩根地区のヘリコプターやはしご車を動員した地区全体の防災訓練の見学をおこなったり、「3分間、3時間、3日間」という時間の節目を軸にしたスライドを作成し、啓蒙活動を行っていかうと考えています。また、来年早々にはこれらをテーマにした講演会も計画しています。

今、揺れたら!?

はじめに

まさしく今、この時この場所で大地震が発生したらあなたはどうか行動すべきか、知っていますか？

地震発生後の3分間、3時間、3日間が大きな時間の節目と言われています。それぞれの時間に何をすべきか、ここで簡単に説明します。

初めの3分間

自分を守る。

テーブルの下に潜る

家族を守る

声をかける

出入り口を開いて安全なスペースに脱出する

近隣を守る。

火元にならないために目の前の火はすぐに消す。

★普段の備え

家具の固定。つかい棒。家屋の耐震化。

初めの3時間

地域で助けあう。

初期消火

一次避難

点呼（近隣、離れた家族）

災害時要援助者のサポート

★普段の備え

非常持ち出し袋の整備

避難ルートの確認

情報収集方法の確認（171の使い方等）

初めの3日間

自分たちの街を自分たち自身で守る

二次避難

防災チーム活動

炊き出し

災害援助要請

★普段の備え

防災チームの整備

地区全体の防災連絡手段確立

3日間耐えられる備蓄

一続きはまた次号で—

（委員長 田畑）

文化芸術委員会

天平以来の歴史がある菩提寺の地域の歴史を学び、遺跡の保存と正しい歴史を伝承していく拠点作りを目指して手探りの一歩を始めています。

今回11月15、16日に開催されます公民館祭りでは、その一角をお借りして展示コーナーを計画しています。

当日には是非ともお立ち寄りをいただき「菩提寺まちづくり協議会」のご理解とご支援をお願いいたします。

（委員長 浅井義晴）

暮らし支えあい委員会

高齢者社会の到来は私たち「菩提寺まちづくり協議会」の現実です。

高齢者の皆さんが培われて来た知識・技術をまちづくりで発揮して頂き健やかで健全に暮らせるまちを目指したいと思います。

私たちは次の2つのテーマに取り組んでおります。

テーマ1、コミュニティーバスの利便性を高める。

(1) 19年度菩提寺線は約1,800万円の赤字路線となっています。(※市全体の約25%)

1) より利用し易いコミュニティーバス運行を目指し、アンケートで皆さんのご意見を頂き、問題点を見つける。

イ、対策を作り行政へ提案・協議し皆さんと共に実行。

2) 野洲線の廃止を含め検討されています。

ア、廃止になる原因の解明と不振対策の検証。

イ、代換え交通機関についての要望をアンケートで集約する。

ウ、積極的利用促進をアンケートにより提案頂く。

エ、行政へ要望・提案を行う。

テーマ2、生きがい人材バンク作り。

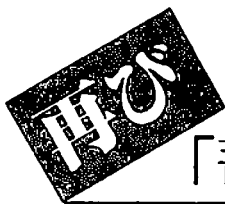
(1) 菩提寺まちづくりの会員（自治会の会員）の皆様の経験・技術・知識等をアンケートで御教える。

(2) 手助けを望まれる方と提供される方をコーディネートする。

(3) 菩提寺まちづくり各自治会及び湖南省市に登録の各種ボランティアや趣味の会の情報収集発信をする。

(※菩提寺線の赤字については19年度上期湖南省市コミュニティーバス路線別収支より推定。)

（委員長 西山）



「菩提寺まち協」のシンボルマーク&愛称を募集します。

過日「まち協だよりNo.1」で、シンボルマーク&愛称募集のご案内を致しましたが、応募点数が少なく、また使い勝手に問題が予測され、残念ながら今回は採用までには至りませんでした。殊にシンボルマークの場合、縮小して名刺に入れたり、モノクロ（白黒）で広報誌を飾るなどの使われ方が多く、そのための配慮が必要となります。従って、デザイン的にシンプルで、色彩的にはモノクロに変換した場合どのようなかを考えたマークが求められます。

以上の点を留意して頂き、皆様の再度の挑戦を期待します。

募集要項

- 1、募集作品 シンボルマーク & 愛称（合わせて）
親しみやすい「菩提寺まちづくり協議会」のイメージをデザインしたマークと愛称を募集（作品は未発表のもの）
- 2、応募資格 菩提寺地域（菩提寺小・北小学区）に在住・在勤者
- 3、応募点数 一人3点以内
- 4、応募方法
 - ・シンボルマーク & 愛称は、A4サイズ（縦横自由）に表現し、裏面にマーク & 愛称の制作意図（100文字程度）・住所・氏名・年齢・電話番号を記載
 - ・色彩自由（ただし、単色使用が多いことを考慮）
 - ・画像データの場合、プリントアウトしたもののみ提出
- 5、応募締切 平成20年12月26日（金）
- 6、審査 まちづくり協議会経営会議において審査
- 7、発表 平成21年1月15日以降
- 8、賞 最優秀作品1点（商品券1万円分）

優秀作品2点
（商品券5千円分）

9、その他

- ・最優秀作品はまち協の広報・事業に使用
- ・採用作品の使用に際して、補正する場合がある
- ・受賞作品の一切の著作権は菩提寺まちづくり協議会に帰属
- ・募集作品は返却不可

詳細は菩提寺まちづくり協議会事務局（菩提寺公民館内）へ
Tel:0748-74-3471
E-mail h-hiroaki@happytown.ocn.ne.jp

募集

まち協では
運営委員・またはご協力者を募集しています。

詳しくは事務局（74-3471）までお問合せ下さい。

地域で活躍するグループ NPO法人みちくさクラブ

（菩提寺学童保育所みちくさクラブ）

学童保育所は、共働きや一人親家庭の小学生の放課後や春・夏・冬休みの生活を保障し、子どもたちの健やかな成長を支えるとともに、親たちの就労と子育てを支える施設です。

みちくさクラブは、平成元年に民家を借りて保



護者会運営により始まりました。その後、町により現在の施設が建てられ、町（市）からの委託を受けて運営委員会（地域関係団体・保護者会・指導員の各代表からなる組織）で、平成19年度まで運営を行ってきました。そして、平成20年3月にNPO法人を立ち上げ、その後NPO法人みちくさクラブとして運営を行っています。ここ数年、利用人数が増え続け、施設の広さが不十分な状況になっていますが、現在、1年生から6年生まで56人の子どもたちが通い、指導員の先生や仲間たちと楽しくすごしています。

今後も、皆さまのご協力をいただきながら、地域の中で子育てのよりよい協力関係を築き、あたにかいまちづくりにも貢献していきたいと考えております。

（みちくさクラブ 菩提寺2093-397 Tel/Fax 74-3851）

「菩提寺とは」

菩提禅寺 住職 安部正毅師

菩提寺という土地は、縄文、弥生時代、天平時代から由緒ある歴史と文化を刻んできたところがあります。

このような土地において「何時までも暮らしたい」と思うことの出来るまちづくりをするにはこの貴重な先人達が築いた、菩提寺の歴史と文化をなおざりにすることは出来ないと思います。この故郷の正しい歴史と文化を後世に伝えていくには「菩提寺とは」から学んで伝えていきましょう。「菩提寺とは」

菩提寺は、今からおよそ1,300年程前の頃、元明・元正・聖武天皇と3代にお仕えになって、活躍された良弁僧正という、近江国志賀の出身のひとがおられ、奈良で修行され立派な僧侶となられ、東大寺の大仏や、淀川改修工事など日本のために身を捧げられました。

その後、生涯の間に歴代天皇のご意思に従い、全国各地に寺院を開基、建立されました。

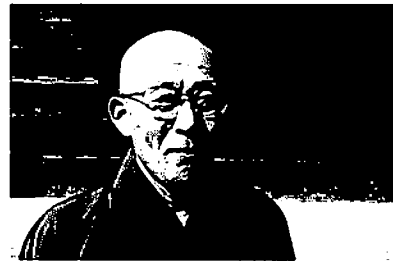
この菩提寺も聖武天皇の天平3年（731年）良弁僧正によって開基され国家鎮護祈願の大道場として建立されたのが始まりで、その寺院の名を円満山大般若院少菩提寺とつけられ、その寺の名が中世以降に地名となりました。

（良弁僧正が建立された建物）

七堂伽藍と里には37の坊・院があったことを認める古文書・古絵図が残っています。

（当時の村落）

八王子村、石林村、谷村、中村、月出村の5集落でなりたっていました。



このようにして今日まで菩提寺は歴史を刻んできた所であり又これに伴い文化も発達、発展してきました。中世以後になってもこの文化は生きていません。現在も各地に残されています。

近世になってサイドタウン、岩谷、近江台付近の山は砂防工事がおこなわれました。学校の歴史など多くの昔の菩提寺を知る事も出来ます。

第8回 秋 ゆうゆう展

菩提寺在住の作家達が年に一度秋に自宅、西応寺、アドワークス、アトリエ 藍、彩芸楽など 6会場で作品を展示しています。

■ 染、絵画（日本画、パス画）、陶芸、近江一閑張、漆、書

期間 2008年10月24日（金）～10月26日（日）

時間 AM 10:00～PM 5:00

チラシは市役所、図書館、菩提寺公民館等に置いてあります。